

北極域研究推進プロジェクト 募集内容一覧

公募ID	受入担当者		募集 人数
1-B	猪上 淳	国立極地研究所 准教授	1
3-A	東 久美子	国立極地研究所 教授	1
6-A	内田 雅己	国立極地研究所 准教授	1
7-A	矢吹 裕伯	国立極地研究所 特任准教授	2

研究課題名	気象・海氷・波浪予測と北極航路支援情報の統合		
研究代表者	猪上 淳（国立極地研究所 准教授）		
公募ID	研究目的・研究内容	募集人数	受入担当者
1-B	<p>北極域での国際共同観測とデータ同化・予報モデルから得られるデータを用い、気象や海氷の予測可能性研究を行うことで、北極海航路等の社会・経済活動に資する情報を提供するとともに、持続可能な北極観測網の最適化を図ることを目的とします。対象とする時間スケールは数時間から季節スケールまで。観測研究と予測可能性研究の発展的融合が必要なため、極域での気象・海洋観測あるいは大気海洋結合再解析(CFSR等)・季節内-季節予報データ(S2S等)を用いた十分な研究実績があり、その両者を相補的に活用できる方を希望します。本研究は世界気象機関(WMO)の極域予測プロジェクト(PPP)への直接的な貢献を想定しているため、国際共同研究としての位置づけを十分に理解している方を希望します。</p>	1名	<p>機関名: 国立極地研究所 氏名・役職: 猪上淳・准教授 TEL: 042-512-0681 E-mail: inoue.jun@nipr.ac.jp</p>

研究課題名	グリーンランドにおける気候・氷床変動の研究		
研究代表者	東 久美子（国立極地研究所 教授）		
公募ID	研究目的・研究内容	募集人数	受入担当者
3-A	<p>本研究は、グリーンランドにおける過去の気候と氷床の変動の解明を目的としている。そのために、グリーンランドで掘削されたアイスコアの分析を行う。特任研究員はアイスコアや積雪試料の分析経験者が望ましい。</p>	1名	<p>機関名：国立極地研究所 氏名・役職：東久美子・教授 TEL：042-512-0674 E-mail:kumiko@nipr.ac.jp</p>

研究課題名	北極生態系の生物多様性研究		
研究代表者	内田 雅己（国立極地研究所 准教授）		
公募ID	研究目的・研究内容	募集人数	受入担当者
6-A	<p>①北極ツンドラ生態系の生物多様性の実態把握とそれに及ぼす環境変動の影響解明を目的とする。</p> <p>②北極圏の国々において野外調査を実施し、得られたデータをもとに、ツンドラ生態系における生物多様性の現状把握、ストレス要因の解析、保全方法などについて研究する。</p> <p>③国内・海外の研究者との共同研究が主体となるため、国内外の研究者との研究や野外調査の準備作業に携わることができること。また、他国とのやりとりでは英語が共通言語となるため、優れた英語力を有すること。北極域での野営による調査が可能であること。</p>	1名	<p>機関名：国立極地研究所 氏名・役職：内田雅己・准教授 TEL：042-512-0744 E-mail：uchida@nipr.ac.jp</p>

研究課題名	北極域データアーカイブシステム		
研究代表者	矢吹 裕伯（国立極地研究所 特任准教授）		
公募ID	研究目的・研究内容	募集人数	受入担当者
7-A	<p>①北極域における温暖化増幅メカニズム解明や北極域における環境変動のメカニズム解明を目的として得られた研究成果を科学的・教育的・産業的利用のため、国内外の研究機関及び研究者などが利用できる北極域データアーカイブシステムを高度化することを目的とする。</p> <p>②そのために、特任研究員は、北極域で取得されるデータについて、可視化・統合化データベース設計構築等の研究を行い、さらにはそれらの成果を用いたデータサービス開発を行う。</p> <p>③地球観測データの処理・解析等の経験があり、かつプログラム開発経験があり、自らのアイデアに基づき運用の効率化や新しいソフトウェア等を開発できる能力を有すること。</p>	2名	<p>機関名：国立極地研究所 氏名・役職：矢吹裕伯・特任准教授 TEL：042-512-0926 E-mail:yabuki.hironori@nipr.ac.jp</p>